

クリーニング代

4 - 5月, 4227円で年最大

四季の変化の大きい日本では、季節によって私たちの着るものが大きく変わります。

暖かい春になりましたが、皆さんは冬物衣類の手入れは済ませたでしょうか。

冬物の衣類、特にシルクやウール素材などのスーツなどは家庭で洗濯するのではなく、クリーニング屋さんへお願いすることが多いのではないのでしょうか。

今回は、総務庁が実施している家計調査の結果から、クリーニング代（洗濯代）についてみましょう。

季節の移り変わりに伴って衣替えする時期には、前の季節に着た衣類のクリーニング代が多くなります。毎月のクリーニング代をみますと4月から5月が1年間で最も多くなっています。平成10年4月から5月の2ヶ月間の水戸市の1世帯当たりのクリーニング代は4,227円で、年間クリーニング代16,395円の約4分の1を占めています。これは、家庭では手入れの難しい冬物の衣類のクリーニング代が多いためと思われます。

また、最近10年間のクリーニング代の年間支出

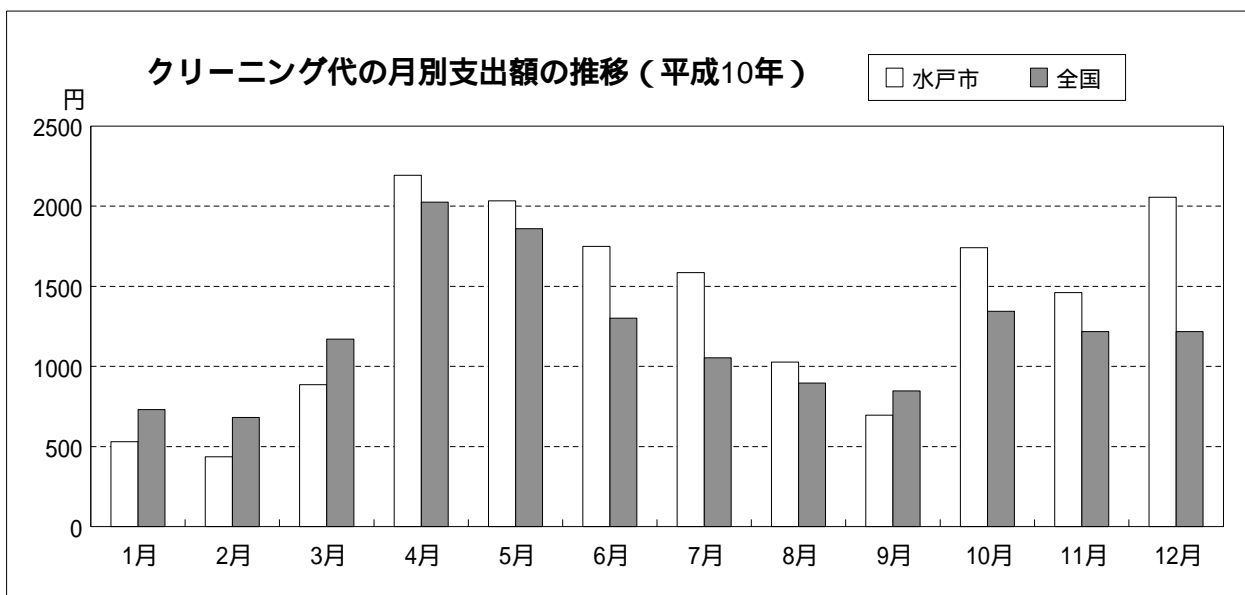
額をみますと、全国では平成4年、水戸市では平成3年までは対前年比で増加傾向にありましたが、両者ともそれ以降の年はほぼ減少が続いています。

バブル経済の崩壊後、家計消費支出の中で衣料費の減少に比例して、クリーニング代も節約されてきているようです。さらに、形状記憶シャツなどの新商品が出回ったり、いろいろな機能がついた洗濯機が発売されたことによって、様々な素材の衣類が家庭でも簡単に洗濯できるようになったことや、週休2日制が定着して勤務日数が減ったこともクリーニング代の減少に関係があると思われる。

クリーニングへ出すにしても、家庭で洗濯するにしても、冬物の衣類はきちんと手入れをしてからタンスにしまうことが、衣類を長持ちさせるために欠かせないことであり、衣料費支出の節約にもつながることではないでしょうか。

(県統計課)

平成12年4月14日掲載



「ふるさとおもしろ統計学」は第2, 第4金曜日, 茨城新聞に掲載されています。

私たちの医療費

1人2200万円，70歳で急増

季節も春になり，いい陽気の休日にはトレーニングウェア姿でジョギングやウォーキングをしている人たちの姿をよく見かけます。これも昨今の健康ブームのあらわれでしょうか。

ところで，これほど健康志向が高まり，あらゆる努力をしても，生涯に一度も病院のお世話になったことがないという人はいないと思います。

それでは，いったい私たちは生涯にどのくらい医療費を使うと思いますか。厚生省の調査によると，なんと1人の人が一生涯に使う医療費は平均2,200万円だそうです。これは一般サラリーマンの退職金にも匹敵すると思われる金額で，あまりの金額の大きさにただただ驚くばかりです。しかも，この生涯医療費は70歳を境として急激に増加し，70歳以上における医療費は生涯医療費の49%を占めています。つまり，人生における医療費の約半分を70歳以上になって支払っているということがわかります。

さて，厚生省で発行している「国民健康保険事

業年報」において，国民健康保険の給付額を都道府県別にみてもみますと，平成9年調査では，本県の1人当たりの給付金額は約12万2千円となっており，全国平均約14万1千円を下回り，長野，千葉，沖縄県に次いで都道府県のなかで4番目に少ない額となっています。

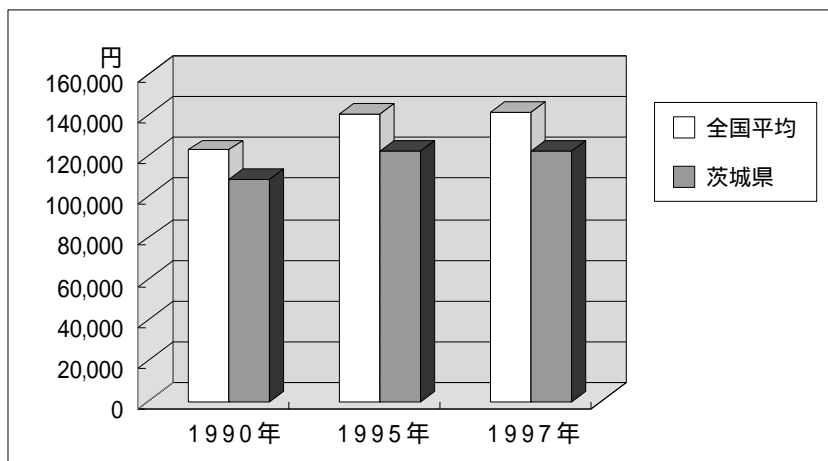
さらに，本県における糖尿病などの生活習慣病による死亡者数は，平成9年で人口10万人当たり468人と全国平均値496人を下回っています。

これらのことは，常日頃から病気予防や健康維持に心をくわいている方が多いことを物語っているのではないのでしょうか。いずれにしても，健康は全ての基本ですので，こうした統計も頭の片隅において，日頃から食生活に気をつけ，適度な運動，ストレスの発散などによって，健康で明るい毎を送りたいものです。

(県統計課)

平成12年4月28日掲載

1人あたりの国民健康保険給付金額



厚生省保険局国民健康保険事業年報

生活習慣病とは悪性新生物
 糖尿病
 高血圧性疾患
 心疾患（高血圧を除く）
 脳血管疾患
 をいいます。

「ふるさとおもしろ統計学」は第2，第4金曜日，茨城新聞に掲載されています。

